

各 位

上場会社名	原田工業株式会社
代表者	代表取締役社長 原田 修一
(コード番号)	6904)
問合せ先責任者	執行役員 平林 弘子
(TEL)	03-3765-4321)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年2月12日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	21,900	20	△145	△800	△36.77
今回発表予想(B)	21,752	△101	△255	△766	△35.21
増減額(B-A)	△148	△121	△110	34	
増減率(%)	△0.7	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	27,733	1,102	703	561	25.77

平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	11,100	△400	△370	△800	△36.77
今回発表予想(B)	10,883	△347	△331	△791	△36.38
増減額(B-A)	△217	53	39	9	
増減率(%)	△2.0	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	14,495	200	196	379	17.44

### 修正の理由

通期(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

サブプライム問題に端を発した金融危機の影響による世界経済の悪化は、第4四半期に一段と深刻さが増し、当社グループが属する自動車業界におきましても世界各国市場の急速な冷え込み及び在庫圧縮に伴う生産調整が急激に進められ、近年にない減産となり、当社グループの主要製品(自動車用アンテナ及び中継ケーブル等)もこの影響を色濃く受けることとなりました。

この結果、通期の連結売上高は計画を若干下回る217億52百万円の見込みであり、利益面につきましては、売上の微減及び原価率の上昇等により売上総利益が減少(3億13百万円減)し、販管費の圧縮(1億92百万円減)等コスト改善に努めましたが、営業損失1億1百万円、経常損失2億55百万円の見込みとなり、当期純損失は税金費用が減少(1億51百万円減)した結果、7億66百万円となる見込みであります。

個別業績につきましては、売上高は計画を若干下回る108億83百万円、利益面につきましては、売上の微減及び原価率の上昇等により売上総利益が減少(1億33百万円減)いたしましたが、販管費の圧縮(1億86百万円減)等コスト改善に努めた結果、営業損失3億47百万円、経常損失は3億31百万円の見込みであり、当期純損失は業績の悪化した関係会社に対する貸倒引当金繰入額の計上(98百万円増)など特別損失が増加(1億4百万円増)いたしましたが、税金費用が減少(74百万円減)した結果、7億91百万円となる見込みであります。

(注)本資料に記載の予想数値は、発表日現在入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上